

家づくり
発想 変える ヒント²
文・写真/福村俊治

天井・壁はペンキ仕上げ 屋根・壁は断熱と防水で保護

小さくても長持ち 子に負担かけず



米軍基地内の各住宅は経済性・機能性を優先。余分なデザインも装飾もなくシンプル



外壁に建物番号と塗装の日付がある米軍基地内の住宅。しっかり維持管理し長持ち



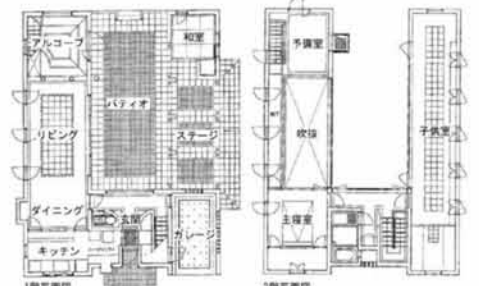
壁も天井もコンクリートに塗装仕上げ。内装を全てで統一し材質感をなくすと、コストも下がり美しく見える



米軍基地内の住宅地の風景、建物群はシンプルだが美しい景観



半戶外パティオの夜景。安い照明だが配置の工夫でリゾート感覚、ムードいっぱい



設計の基本寸法は800mm、900mmと比べると床面積は79%になる。コンパクトな間取りで階高も低く2600mm



3人姉妹の子ども部屋。家主の希望は個室の勉強部屋だったが、室内面積を減らすために細長い一室にした



室内面積は減らし、代わりに半戶外のパティオを設けた。食堂や居間にもなり、屋内の狭さを補完する

私なら温暖な沖縄の地域特性を生かしたコンパクトで長持ちする質素な住宅づくりを勧めたい。写真の住宅の家主は、お金はないが夢がある人だった。親類や友人も多く、将来は子供や

土地や建設工事が値上がりしている。私の住む浦添でも土地は坪70〜80万円、建物は一般に坪100万円いや120万円かかるという。50坪の土地に35坪の家を作れば、7千万円を超える。一方収入は増えていないが、食費や教育費などの生活費はどんどん上がる。銀行は庶民に対して貸し渋りをする。うまく借りて建てても、維持管理しなければ返済が終わる頃に建物はボロボロになり建て替えることになる。つまり子供や孫もずっと借金を背負わないと住宅は持てない。

日本国憲法25条には生存権として「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とつたわれているが現実はそのでない。そもそも資本主義社会であっても土地や建物を投機や金もうけの対象にしてはいけない。何もせず土地の価値は何倍にも上がり、一方、汗水流して働いても狭い土地さえ買えない社会なんて不平等だ。日本経済は土地にあり得ない値段をつけ繁栄してきたが、今や日本は1200兆円の借金を抱えている。さてどうする？

土地や建設工事が値上がりしている。私の住む浦添でも土地は坪70〜80万円、建物は一般に坪100万円いや120万円かかるという。50坪の土地に35坪の家を作れば、7千万円を超える。一方収入は増えていないが、食費や教育費などの生活費はどんどん上がる。銀行は庶民に対して貸し渋りをする。うまく借りて建てても、維持管理しなければ返済が終わる頃に建物はボロボロになり建て替えることになる。つまり子供や孫もずっと借金を背負わないと住宅は持てない。

ふくむら・しゅんじ
1953年滋賀県生まれ。関西大学建築学大学院修了後、原広司+アトリエファイ建築研究所に勤務。90年空間計画 VOYAGER、97年 teamDREAM設立。県平和祈念資料館、県総合福祉センター、那覇市役所格助庁舎のほか個人住宅などを手掛ける

小さく長持ちする家
毎月第2週に掲載

その代わりに少し広めのパティオを家の真ん中に造った。半戶外空間は室内の半額程度で造れ、しかも室内の狭さを補完し生活に潤いを与える。建物を長持ちさせ快適に住むために、強い日差しや塩分湿じりの風雨から建物を守るために、屋根は外断熱で防水塗装を施し、外壁は厚めに塗装した。鉄筋コンクリートの建物ならしっかりと設計と維持管理をすれば、建て替えなしで100年ぐらいは十分もつ。つまり子供や孫に負担はかからない。参考になるのは経済性・機能性・長寿命を重視し、70年前に建てられた内外ペンキ仕上げの基地の住宅だ。

孫がいつも訪れみんなで食事ができるリゾート感覚の楽しい住宅を望んだ。そして、基地関係の空調会社に勤めていたが、クーラーなしの涼しい住宅が欲しいとも言った。だから、子供室や主寝室などの室内部分は風通しの良いオープンでコンパクトな間取りで、しかも天井も壁もお金をかけないペンキ仕上げとした。